



広島県議会議員
石津正啓
E-mail: rtccr129@yahoo.co.jp

発行 公明党広島県議会議員団
〒730-8509 広島市中区基町10-52
連絡先 石津まさひろ事務所
〒720-1147 福山市駅前町向永谷131-4
TEL・FAX: 084-976-6509

No.1

県政に皆さまの声を届けます。
ご意見・御要望をお待ちして
おります。

本会議で初の一般質問

6月定例会 一般質問事項

- 地方創生の取り組みについて
 - 若者に対する県内の就学・就職支援について
 - 大学進学時における若者の県外流出の防止について
 - UIターン就職の促進に向けた新たな支援策について
 - 中山間地域における企業誘致戦略について
 - 多世代と交流等ができる新たな高齢者コミュニティづくりについて
 - 福山環状道路の整備について
- 世界の指導者による被爆地訪問を目指した取り組みについて
- 情報ネットワークを活用した災害情報の収集について
- 養子縁組を前提とした里親制度について
- 警察行政における諸課題について
 - 高齢者ドライバーの事故防止対策について
 - 県警における女性職員が働きやすい環境づくりについて



6月定例会にて一般質問する石津議員(6月30日)

質疑応答 (抜粋)

質問 大学進学時における若者の県外流出の防止について、県内で学ぶ若者を確保するための、新たな方策をいち早く打ち出し、大学進学時における、若者の県外流出を防止していく必要があると考えますが、ご所見をお伺いいたします。

答弁 県内の高校生に対して、現役大学生や社会人が、県内大学へ進学することの意義や魅力を直接伝える取り組みを行うとともに、また、県外の高校生に対してであります、「広島県大学ガイド」を作成し、県内すべての大学や短期大学の情報はもとより、本県の企業情報や充実したキャンパスライフを過ごすための生活情報を取り入れるなど、受験生に本県大学の魅力をしっかり伝えるものを配布し、県内外から大学の進学先として

選ばれるよう、その魅力の発信を積極的にすすめてまいりたいと考えております。

質問 来年5月の伊勢志摩サミットに合わせ、広島市で外相会合が開催されるが、核兵器廃絶への大きな推進力となる世界の指導者による、被爆地訪問の実現に向けて、今後どのように取り組まれるのかお伺いする。

答弁 世界の指導者が被爆地を訪れ、被爆の実相に触れることは、大変意義深く、今後、サミット参加国首脳への被爆地訪問の働きかけを一層強化し、本年8月の国連軍縮会議などでも政治指導者の訪問を働きかける。被爆70年を迎え、被爆県の知事として広島が核兵器のない国際社会の実現に向け、貢献できるように精一杯取り組んでまいります

公明党議員団が新体制で出発しました

4月の選挙で公明党広島県議会議員団は新人議員2名、現職4名の新体制となりました。

議員名	期	選挙区	会派役職	常任委員会	特別委員会
栗原俊二	4	広島市安佐南区	団長	建設委員会	安心な環境づくり対策
田川寿一	4	広島市西区		文教委員会	産業基盤強化対策
日下美香	4	広島市中区	幹事長	生活福祉保健委員会	少子化・人材育成対策
尾熊良一	2	福山市	政調会長	農林水産委員会	広域国際観光振興対策
下西幸雄	1	呉市		総務委員会	地域魅力創造対策
石津正啓	1	福山市		警察・商工労働委員会	地方創生・行財政対策



新体制の公明党広島県議員団(本会議場にて)
左から栗原・日下・田川・尾熊・下西・石津議員

また、6月から栗原団長、日下幹事長、尾熊政調会長の新たな会派執行部体制となりました。栗原団長を中心に、6人しっかり団結し、県民の皆様や県政発展のために、政策の提案と実現に全力で頑張っております。

サミット時の外相会合を広島市で開催決定

2016年主要国首脳会議(サミット)に「世界の指導者に被爆地訪問の実現」を要望

来年の主要国首脳会議(サミット)は、三重県志摩市で開催される事が決定しましたが、公明党議員団は6月9日湯崎英彦広島県知事宛に、6月12日岸

田文雄外務大臣宛に、被爆70年の意義ある本年に、核兵器廃絶へ強い願いを含めた3項目の要望活動を行いました。その結果、6月26日政府はサミット

時に外相会合を広島市で開催することを正式に決定しました。

<要望の内容>

- ①「核兵器の非人道性に関する国際会議」を広島で開催すること。
- ②プラハ演説を行ったオバマ米大統領はじめ参加国指導者の被爆地広島への訪問の機会をつくること。
- ③主要国首脳会議の関係閣僚会議を広島で開催すること。



知事に要望書を提出(6月9日)



外務省岸田外務大臣に要望書を提出(6月12日)

災害時の難病患者を支援

適切な対応へ手帳を作成(5月19日)



広島県は難病患者らが地震や土砂災害時などで避難

したときに備え、必要な支援を周囲に的確に伝えるための「災害時支援手帳」を作成。

作成を推進した公明党県議団に県庁内で広島難病団体連絡協議会の後藤淳子会長より手帳の完成の喜びの報告がありました。

県は手帳を2万部作成し、難病団体や各市町より配布されます。



広島がん高精度放射線治療センター視察(広島市東区・9月28日)



平成27年度9月補正予算等に対する要望を提出(8月19日)



被爆建物の旧被服支廠を視察(広島市南区・9月5日)



広島の平和記念式典に参加(8月6日)



平和創出大会に参加(8月22日)



原爆養護施設の舟入むつみ園と広島赤十字・原爆病院を慰問(広島市中区・7月16日)

安全



182号線の土砂災害現場を視察



路側帯の安全対策反射鏡設置(神辺町道上)



交差点注意の表示(駅家町今岡)



水路付近周辺整備(駅家町向永谷)



歩行者信号機の設置(蔵王町6丁目)